

第6回 カジノ管理委員会契約監視委員会 議事概要

1 日 時 令和8年6月12日（金）14:25 ～ 15:05

2 場 所 カジノ管理委員会12階大会議室（web会議システムを併用）

3 出席者 委員長 工藤 裕子 中央大学法学部教授
委員 大森 明 横浜国立大学国際社会科学研究院教授
委員 中村 豪 東京経済大学経済学部教授

4 議事概要

(1) 開会（冒頭、委員の互選により、工藤委員が委員長として選任された。）

(2) 調達案件の審議

令和7年4月1日から令和8年3月31日までの間に締結した契約のうち、委員が抽出した調達案件2件について審議が行われた。審議の概要は別紙のとおり。

(3) 閉会

1 令和7年度監督事務システムPJMO支援業務

意見・質問	説明・回答
参考見積の取得方法及び予定価格の考え方について確認したい。 情報システムの調達には企業が限られており、行政側の情報劣位を危惧している。情報収集体制の強化が必要ではないか。 5段階評価方式では配点の大きい項目で評価差が大きくなるため、評価方法の見直しが中長期的には必要ではないか。	参考見積の取得方法及び予定価格の考え方について説明。 情報収集体制強化の必要性は認識しており、今後の取組にいかしてまいりたい。 評価項目や配点等の提案評価基準の設定については、今後検討してまいりたい。

2 監督事務システム機能追加業務

意見・質問	説明・回答
監督事務システムの構築を一括ではなく、追加で発注した理由は何か。また、審議案件1と比べ案件規模が大きい理由は何か。 本業務は、前工程のシステム構築を行った事業者が請け負っているのか。 公募期間についてはもう少し余裕を持たせることができなかったのか。年度末にこの規模の業務になると、受注できる事業者も非常に限られてくる。今回の業務は分割発注できなかったのかなど、今後に向けて検討してもらいたい。	基本設計、本体開発等が完了した上で、業務効率向上などにつなげる機能追加の必要性が生じたことから、追加で発注した。 本業務はアプリケーション開発であり、審議案件1はシステム構築に当たってプロジェクト管理を行うPJMOへの支援業務である。業務内容が異なるため、案件規模に差が生じている。 本業務については、公募により他事業者の応募の有無を確認したが、応募者は前工程を受注した事業者のみであったことから、当該事業者が受注している。 今回の結果及び御意見を踏まえ、次回と同種業務の調達に際しては、引き続き市場調査や事前の情報収集を十分に行いつつ、公募期間の設定や発注単位について検討してまいりたい。